

## 第11回「インドシナ地域の教育研究連携に関する大学間ワークショップ」

「アジア諸国に展開する地球環境学の教育・研究連携に関する国際シンポジウム」プレ・ワークショップ

日時：11月13日（日）9:30-17:00

場所：Hotel Novotel Bangkok on Siam Square

言語：英語

<p>9:30-12:30 (11:00-11:20 : コーヒープレ イク)</p>	<p>(1) 国際協働教育プログラム開発 コーディネーター：平田彩子 京都大学特定 准教 概要：近年加速するグローバル化社会に対応 し、我が国では外国大学との組織的・継続的な 教育連携関係の構築を通じて、ダブル・ディグ リーをはじめとした国際化教育、教育内容の充 実などの取り組みが活発になっている。本セッ ションでは、前半でダブル・ディグリーを始め とする大学間の国際教育交プログラムについ て、大学ごとの取組み事例を紹介する。その後 各報告を踏まえ、大学間の国際教育プログラ ムのデザインと実施について、パネル・ディス カッション、質疑応答を行い、より効果的な教育 プログラムのあり方を探る。</p>	<p>(2) 国際連携を通じた森里海連環学研究と 実践活動の可能性 コーディネーター：吉積巳貴 京都大学特定 准教授 概要：CoHHOプログラムでは、アジア地域、 特にベトナムを中心に、現代社会に適応可能 な森里海連環の実現に向けて、地域コミュニ ティによる地域資源の活用を通じた森里海 連環のあり方について研究を行うことを検 討中である。本セッションでは、トゥアティ エン・フエ省のエコツーリズムの可能性と、 今年4月に発生したベトナム北中部の魚の大 量死問題による沿岸集落の影響について緊 急報告を行い、今後の研究課題の設定とその 進め方について議論する。</p>
<p>12:30-14:00</p>	<p>昼食</p>	
<p>14:00-17:00 (15:30-15:50 : コーヒープレ イク)</p>	<p>(3) 国際共同研究の進展 第1部 若手研究者による研究発表 コーディネーター：西前出 京都大学准教授 概要：日本および東南アジア各国の様々な専 門分野からの若手研究者の研究発表を行う。 研究内容を共有することで新たな共同研究 の可能性を模索する。 第2部 国際共同研究の事例紹介と討議 コーディネーター：柴田昌三 京都大学教授 これまでに行われてきた以下の三つの国際 共同研究の事例を紹介する。 1：JASTIP-日ASEAN科学技術イノベー ション共同研究拠点：持続可能開発研究の推進 2：シーズファンディング -地球環境学の 学術基盤創成に向けた共同研究- 3：アジア研究教育拠点事業（日本とマレー シアの共同研究）リスク評価に基づくアジア 型統合的流域管理 これらの事例紹介に基づき、今後の国際共同 研究のさらなる発展、新規展開について討議 し、具体的なアクションを検討する。</p>	<p>(4) 産官学連携の推進 コーディネーター：大下和徹 京都大学准教授、 Trakarn Prapasongsa マヒドン大学助教 概要：日本においては、高度経済成長期をき っかけに、深刻な大気汚染、水質汚染、廃棄 物問題などを経験し、克服してきた歴史があ る。その中で、環境プラントメーカーを中心 とする日本企業が果たしてきた役割は無視 できないであろう。経済発展が著しい東南ア ジアにおいては、環境問題が依然として顕在 化しており、多くの日本企業がその克服を目 指して、東南アジア諸国でのビジネス、研究 の連携を進めている。本セッションでは、産 学官の連携も含め、これらの事例を日本企業 から紹介いただくとともに、現地タイの企業 から、環境技術のニーズ、シーズを含め、最 新の動向についても報告いただく。最後に、 今後、ASEAN諸国において、産官学での連 携をどのように進めていくべきか？大学教 育や、人材育成の観点からも議論を行う。</p>

注：昼食の提供は本ワークショップではありません。

# アジア諸国に展開する地球環境学の教育・研究連携に関する国際シンポジウム

主催：京都大学，マヒドン大学

日時：11月14日（月）9:00-16:30

場所：マヒドン大学サラヤキャンパス

言語：英語

## 第1部：アジア諸国に展開する地球環境学の研究連携

司会：西前出（京都大学地球環境学堂）

TBA（マヒドン大学）

09:00-09:30	受付
09:30-09:35	開会・趣旨説明 藤井滋穂 京都大学教授 EIPプログラムリーダー
09:35-10:15	プレ・ワークショップ成果報告
	セッション1：国際協働教育プログラム開発 平田彩子 京都大学特定准教授
	セッション2：国際連携を通じた森里海連環学研究と実践活動の可能性 吉積巳貴 京都大学特定准教授
	セッション3：国際共同研究の進展 西前出 京都大学准教授
	セッション4：産官学連携の推進 大下和徹 京都大学准教授
10:15-11:30	若手研究者研究発表（3分×25件程度）

ポスター発表（ポスター発表コアタイム 11:30-12:00）および 昼食（ビュッフェ）

## 第2部：アジア諸国に展開する地球環境学の教育連携

司会：梶井克純（京都大学地球環境学堂）

TBA（マヒドン大学）

13:00-13:30 13:00-13:10	開会
	開会の挨拶 Clin. Prof. Udom Kachintorn, M.D. マヒドン大学 学長 北野正雄 京都大学 理事
13:10-13:30	参加者紹介
13:30-14:10 13:30-13:50 13:50-14:10	ダブルディグリープログラム調印式
	協定書調印
	写真撮影
14:10-14:30	コーヒーブレイク
14:30-16:25 14:30-14:50 14:50-15:10 15:10-15:30 15:30-15:50 15:50-16:25	教育・人材育成における国際連携 (未定) 唐木啓介 在タイ日本国大使館 一等書記官
	To be a World Class University Prof. Banchong Mahaisavariya, M.D. マヒドン大学 副学長
	Kyoto University's Challenge towards International Collaboration on Education and Research (仮題) 北野正雄 京都大学 理事
	Project of Master Double degree in Chemistry between Kyoto and Lille (France) (仮題) Prof. Christa Fittschen リール大学化学部 リサーチ・ディレクター
	招聘者からのコメント
	16:25-16:30

16:30-17:15 灯籠づくり

17:15-20:00 懇親会（マヒドン大学）

20:00-20:30 ローイクラトン祭 (灯籠流し)

20:30- バンコク市内ホテル移動

## 京都大学留学フェア（シンポ関連サテライトイベント）

日時：11月14日（月）9:30-12:00（開場：9:10）

場所：マヒドン大学サラヤキャンパス ラーニングセンター 4F 411号室

言語：英語

### プログラム

9:30-9:35	開会あいさつ	マヒドン大学工学部長 Dr. Jackrit SUTHAKORN
9:35-9:40	歓迎のあいさつ	京都大学 理事 北野正雄
9:40-9:55	京都大学への留学案内&奨学金	河合深雪
9:55-10:02	地球環境学堂	舟川晋也教授
10:02-10:09	農学研究科	縄田栄治 教授
10:09-10:16	工学部	高井敦史 助教
10:16-10:23	工学研究科	伊藤禎彦 教授
10:23-10:30	医学研究科	Patou Masika Musumari 准教授
10:30-10:37	人間・環境学研究科	西川完途 准教授
10:37-10:45	マヒドン大学工学部	Jackrit SUTHAKORN 教授
10:45-12:00	ブースでの個別相談	

## スタディーツアー

日時：11月15日（火）7:30-18:30

7:30	ホテルからバスで移動
9:30-12:00	Bang Pu Nature Education Center (自然観察ツアー, マングローブ植林)
12:00-12:30	Bang Pu へバスで移動
12:30-13:30	Bang Pu レストランにて昼食
13:30-14:30	バスで移動
14:30-15:30	Pra Samut Jadee 寺院を訪問
15:30-16:30	バスで移動
16:30-17:30	Khlong Lad Pho Gate project を訪問 (洪水対策事業)
17:30-18:30	ホテルへ移動

主催： 京都大学, マヒドン大学

共催： 概算要求機能強化経費「海外サテライト形成によるASEAN横断型環境・社会イノベーター創出事業」  
JSPS拠点交流 (B) 「アジアプラットフォームによる地球環境学の実践的展開と学術研究基盤の創生」

後援： 文部科学省, 日本学術振興会, 日本財団

協賛： スーパーグローバル大学創成支援「京都大学ジャパングートウェイ」

京都大学総長裁量経費「ASEAN環境教育拠点強化事業」

京都大学学際融合教育研究推進センター森里海連環学教育ユニット

京都大学全学経費「インドとの戦略的交流事業実施経費」